

原田病院外来診察担当表 (2021年6月21日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前9時～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□一般内科外来 □糖尿病外来 □泌尿器科外来 □整形外科外来 □慢性腎臓病(CKD)外来 □在宅血液透析(HHD)外来

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
午前 来	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本
	2診	土井俊樹	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下(秀)	山下(和)
	3診	佐々木	大下	土井俊樹	中野(喜)(呼吸器内科)	大下	佐々木
	4診 DM	内藤(則)	小林(貴)	内藤(則)	向井	向井	DM 広大
	5診	安達	原田	DM/11:00~特定健診 田中	小林(貴)	松坂	(第1・3・5週目)/(第2・4週目) 土井俊樹(整形外科)/岡野(整形外科)
	6診 初診	森井	松坂	大久保	森本	長澤	小林(知)
	7診	藤井(血液内科)	藤田	藤田	藤田	藤田	広大
	8診	—	—	—	—	—	長澤
午後 来	1診	15:30~16:00(予約) /16:00~18:00 荒川	16:00~18:00 有吉	15:00~16:00(PD) /16:00~18:00 土井俊樹	15:30~16:00(予約) /16:00~18:00 大久保	15:30~16:00(予約) /16:00~18:00 弓場	15:00~16:00(予約) /16:00~18:00 有吉
	2診	14:30~16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00~16:00/16:00~18:00 呼吸器/一般内科 宮本	16:00~18:00 弓場	14:00~16:00 PD 西澤	16:00~18:00 呼吸器 濱田	15:00~17:00 DM 広大
	3診		14:20~16:00 CKD 水入	15:00~18:00(第2・4週) 血液内科 西澤(正)	14:40~16:20 CKD 水入	14:30~16:00 CKD 西澤	16:00~18:00 CKD 森井
	4診	14:30~17:30 (中島)	14:00~16:30(第2・4週) 循環器 中野(由)	13:00~14:00 禁煙外来 内藤(則)	—	—	—
	5診	14:30~17:30 中島	15:30~17:30 原田	16:00~18:00 呼吸器 中野(喜)	—	12:00~14:00 移植シャント外来 札場	—
	7診	13:30~16:00 フットケア 大下	13:30~16:30 リウマチ・膠原病 荒木	14:00~17:00 循環器 秦	—	13:30~17:30 リウマチ・膠原病 舛田	—
	8診	—	14:30~15:00/12:00~14:00 HHD 西澤/移植シャント外来 札場	—	—	—	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

あさひ

一陽会広報誌

令和3年
夏号
vol.68



題名「開聞岳」

撮影：一陽会クリニック 北森初男

一陽会

原田病院 院長 重本 憲一郎

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一陽会クリニック 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

デイケアあさひ 所長 寺沢 由香

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600

イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横川クリニック 院長 内藤 隆之

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

グランホームあさひ 施設長 三上 タ子

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳

クローバー在宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(在宅介護)
FAX 082-925-6223(共通)

ケアレジデンス楽々園 施設長 小嶋 加代子

デイサービス楽々園 所長 西 幸子

クローバーヘルパーステーション 所長 甲斐 慎一郎

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686(ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585(デイサービス楽々園)
082-943-7088(ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588(共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

アメリカの製薬大手ファイザー社製ワクチンが2月12日に承認されたのを皮切りに、日本でも着々と新型コロナワクチンの接種が進行しています。◆ファイザー社製のワクチンは1回目のワクチン接種12日後に効果が出てくると言われ、1回目の接種から2回目に接種するまでの効果は52.4%、2回目の接種を受けて7日間たった以降の効果は94.8%とされています。◆ワクチンに期待される効果には感染そのものを防ぐ「感染予防効果」、感染しても症状が出るのを抑える「発症予防効果」、症状が出て重症にならない「重症化予防効果」があります。また人口の一定以上の割合が免疫をもつことにより感染が流行しなくなる「集団免疫効果」も期待され、WHOは1月の会見で全体の70%を超える人がワクチン接種すれば集団免疫の獲得が期待できるとの見方を示しました。◆ごくまれに強い副反応があるため一陽会の医療機関ではかかりつけの患者さんを対象にワクチン接種を実施しています。できるだけ早く多くの方に接種していただくため7月からは一部日曜日にも接種を始めています。これからは地域の皆さまに安心をお届けしていくよう努めてまいります。

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以て地域医療・介護に貢献する。
 - 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。
 - 3 誠心と創意工夫を以てその職責を全うする。
- 一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者の権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有する。
一陽会の職員は患者のプライバシーの保護に努めるとともに、人としての尊厳を重視する。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有する。
一陽会の職員は患者に必要な情報提供を行い、インフォームドコンセント(説明と同意)に努める。
- 3 患者は医療機関選択の自由の権利を有する。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこのことを支援する。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

新任医師ご紹介

4月より新しく就任しました6名の医師をご紹介します。



放射線科 小林 昌幸 医師
原田病院 画像診断センター長
広島大学 医学部(1986年卒)
・医学博士(1997年)
・日本放射線医学会 放射線科専門医
・日本放射線医学会 放射線診断専門医
・日本医学放射線学会 研修指導医

昭和61年に広島大学を卒業した後、国立呉病院、北九州総合病院、安佐市民病院、広島総合病院、広島鉄道病院、広島記念病院、県立広島病院を経て、この4月から原田病院にお世話になっております。前に居た県立広島病院に比べて、こちらは人間関係が濃く温かみがあるように感じています。原田病院は透析を主にされている病院であり、放射線診断医である自分がどれだけお役に立てるかわかりませんが、病院のため、地域のため、皆さまのために力をつくしてまいりますと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



腎臓内科 荒川 哲次 医師
腎臓内科部長
広島大学 医学部(1998年卒)
・医学博士(2008年)
・日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
・日本腎臓学会 認定専門医・指導医
・日本透析医学会 認定専門医・指導医

1998年広島大学卒業後、広島大学病院にて初期研修を行い、その後尾道総合病院・土谷総合病院に勤務のち広島大学病院大学院に入学、学位取得のち広島大学病院・JA広島総合病院の勤務を経て本年4月より原田病院に勤務させて頂くこととなりました。前任地のJA広島総合病院には10年勤務しており、その間佐伯区・佐伯地区の地域医療に従事してまいりました。引き続き地域の皆さまの健康を守るため微力ながら力を尽くしていきたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



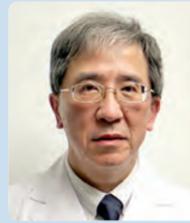
内科/腎臓内科 有吉 寛明 医師
山梨大学 医学部(2019年卒)

2019年に山梨大学を卒業後、広島市民病院にて2年間の初期研修を行い、広島大学腎臓内科に入局した後、この度原田病院に勤務させて頂くこととなりました。医師の中で一番若手であり、経験不足なところや未熟なところが多々あると思いますが、精一杯精進して参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。患者さんに寄り添い、病気を治すことはもちろんですが、気軽に相談していただけるような医師を目指しています。治療について気になることや不安な事がありましたらなんでも相談していただければ幸いです。一日でも早く成長し、地域の皆さまのお役に立てるよう努力していきますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



透析外科 札場 保宏 医師
透析外科部長
広島大学 医学部(1991年卒)
・医学博士(2001年)
・日本外科学会 認定医・専門医・指導医
・日本消化器外科学会 認定医
・日本臨床腎移植学会 腎移植認定医
・日本移植学会 移植認定医
・日本透析医学会 認定専門医・指導医
・日本肝臓学会 肝臓専門医

この度4月から原田病院に勤務させて頂いていただいております。前任地の県立広島病院では、15年間の間に移植外科医として腎移植168例と2000例近くのシャント手術、2000例以上のシャントPTAに携わらせていただきました。この経験を礎に原田病院では、透析医療に従事しつつ、シャント関連の手術を通して患者さんのお役に立てるよう、また地域医療に貢献できるよう精進していくつもりです。また敷居が高いと思われがちな腎移植ですが、腎移植を希望される患者さんの窓口となって腎移植医療の普及にも貢献できることを願っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



呼吸器内科 中野 喜久雄 医師
呼吸器内科 科長
広島大学 医学部(1980年卒)
・日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
・日本呼吸器学会 専門医・指導医
・日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡 専門医・指導医
・日本臨床腫瘍学会 暫定指導医

今年4月から赴任させて頂きましたが、当初から電子カルテをはじめ全ての事に不慣れで、職員の皆さんには大変御迷惑をおかけしています。にもかかわらず親切に優しく接して頂き、感謝とともにアットホームな病院だと思っています。前任地の呉医療センターでは31年間働きましたが、この間、現在一陽会で御活躍中の内藤先生、向井先生、小野先生、森本先生と一緒に仕事をさせて頂きました。このたび再び御一緒でき、懐かしさと共に御指導して頂ける心強さも感じています。専門領域は高齢化で増えている肺炎などの呼吸器の病気です。患者・家族の皆さんとの対話を重視し、患者さんが納得できる医療を目指していますので宜しくお願ひします。



糖尿病内科 田中 奈津子 医師
島根大学 医学部(2009年卒)
・日本内科学会 認定内科医
・日本糖尿病学会 専門医

島根大学を卒業後、福岡の病院に勤務しながら2人の子供を出産し、昨年秋3人目の出産に合わせて念願の生まれ育った広島へ帰ってきました。九州では聞くことのなかった広島弁がとても懐かしく心に染み渡り、やはり広島は血が流れているんだと実感しながら日々診療しております。広島での診療は初めてで、子育てをしながらの勤務で御迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、地域の医療に少しでもお役に立てるよう精進して参りますので今後ともよろしくお願ひいたします。

“透析看護認定看護師” 資格取得

一陽会クリニック 看護師 多川和宏が、一陽会5人目の認定看護師となる「透析看護認定看護師」の資格を取得いたしました。

これまで13年間透析看護の経験を積んで参りましたが、透析療法は生涯続けていく治療ということもあり、中には現状を受け止めることが難しく、透析室で涙

を流される患者さんも少なくありませんでした。そういった関わりの中で、日々を振り返り、葛藤することも多々ありました。

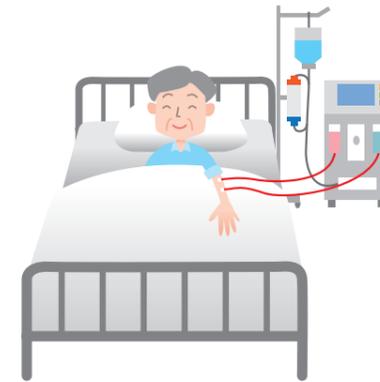
看護師として何ができるのか、自分自身を見つめ直した時に、透析の知識や技術の専門性を高め、人として成長していく必要があると考え、透析看護認定看護師という資格を取得しました。これからは、治療だけでなく、

安定した療養生活を送るための生活調整や家族支援を行うために、透析療法を続けながら、患者さんやご家族の方が生きがいを持ち、それぞれの価値観を尊重し、楽しく人生を過ごせるように支援していきたいと思ひます。

患者さんやそのご家族の笑顔のために、できることを一緒に考えてまいります。何かあればお気軽にお声がけください。



透析看護認定看護師
一陽会クリニック 多川 和宏



一陽会の認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師	浅田 悦子
糖尿病看護認定看護師	庄子 千鶴満
摂食・嚥下障害看護認定看護師	百田 真志帆
透析看護認定看護師	木村 奈穂子

「デジタルX線透視撮影装置 更新」

島津 SONIALVISION G4

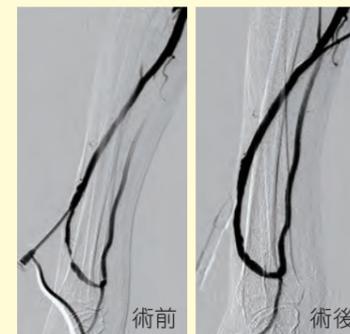
このたび導入したデジタルX線透視撮影装置“SHIMADZU SONIALVISION G4は、PTA（経皮的血管拡張術）、VF（嚥下造影）、胃透視検査などの各種検査・処置に対応し、被ばく低減と高画質を両立させるなどクラス最高の多目的透視撮影システムです。特に透析シャントPTA検査で使用使用するDSA機能には患者さんが動いてもノイズが起きない新モードを搭載



しており、患者さんの負担を軽減するだけでなく、リアルタイムに血管を明瞭に観察することができます。

患者さんに横になっていただく天板は幅が広く安定感があり、低い位置まで下がるため乗り降りが楽になるなど患者さんに優しい機能も多数搭載しています。

今回の装置導入のみならず、これからも継続して安心安全な医療を提供し続けるよう努めてまいります。 放射線科 技師長 水野 健治



PTA 術前・術後